

平成29年度 関西広域連合

第7回 EV・PHV・FCV写真コンテスト ～あなたの街のEV・PHV・FCVが似合う風景～

- | | |
|---------|---------------------------|
| 【募集期間】 | 平成29年7月1日(土)～9月30日(土) |
| 【応募作品数】 | 144点 |
| 【主催】 | 関西広域連合広域環境保全局 |
| 【後援】 | 公益社団法人日本広告写真家協会 |
| 【協賛】 | 日産自動車(株)・三菱自動車工業(株)(50音順) |

入賞・入選 一覧

選考結果	撮影者		撮影場所		作品タイトル
	氏名	住所			
最優秀賞	松本 若奈	大阪府	京都府	舞鶴市	重要文化財&PHV
優秀賞 (2点)	井手 径子	滋賀県	滋賀県	湖南市	桜並木～冬ヴァージョン～
	奥村 明裕	大阪府	兵庫県	淡路市	明石海峡を背にして
入選 (10点)	一ツ田 友也	和歌山県	和歌山県	有田郡有田川町	日本の棚田百選「あらぎ島」を訪れて
	白木 文枝	京都府	京都府	南丹市	帰郷
	細井 彰人	京都府	京都府	宮津市	威風堂々
	土井 正治	和歌山県	和歌山県	田辺市	熊野の世界遺産・大斎原とPHV
	株式会社日吉	滋賀県	滋賀県	近江八幡市	びわこを眺めて
	西川 さち	和歌山県	和歌山県	伊都郡高野町(高野山)	高野山壇上伽藍 根本大塔
	高橋 裕佳子	滋賀県	滋賀県	大津市	夏の終わり、空の色
	小西 英明	滋賀県	滋賀県	犬上郡豊郷町	ロケ地めぐり 豊郷小学校旧校舎群
	株式会社ヤマプラ	滋賀県	滋賀県	近江八幡市	旧市街地に行く
	佐藤 輝明	大阪府	和歌山県	和歌山市(加太港)	潮風に吹かれて
日産EV賞	小西 あゆみ	滋賀県	滋賀県	大津市	木漏れ日の径
三菱EV・PHEV賞	高橋 文彦	大阪府	兵庫県	神戸市西区	夏の光跡

最優秀賞

松本 若奈 「重要文化財 & PHV」
京都府 舞鶴市



優秀賞

井手 径子「桜並木～冬ヴァージョン～」
滋賀県 湖南市



優秀賞

奥村 明裕「明石海峡を背にして」
兵庫県 淡路市





入 選

一ツ田 友也

「日本の棚田百選「あらぎ島」を訪れて」
和歌山県 有田郡有田川町

入 選

白木 文枝

「帰郷」京都府 南丹市





入 選

細井 彰人「威風堂々」
京都府 宮津市

入 選

土井 正治
「熊野の世界遺産・大斎原とPHV」
和歌山県 田辺市





入 選

株式会社日吉「びわこを眺めて」
滋賀県 近江八幡市

入 選

西川 さち
「高野山壇上伽藍 根本大塔」
和歌山県伊都郡高野町（高野山）





入 選

高橋 裕佳子

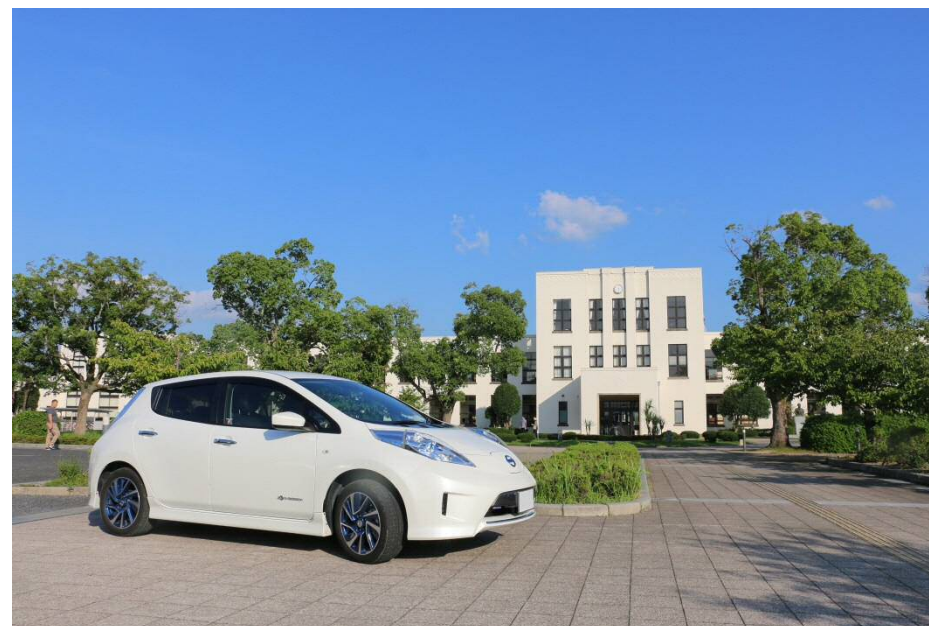
「夏の終わり、空の色」

滋賀県 大津市

入 選

小西 英明

「ロケ地めぐり 豊郷小学校旧校舎群」
滋賀県 犬上郡豊郷町





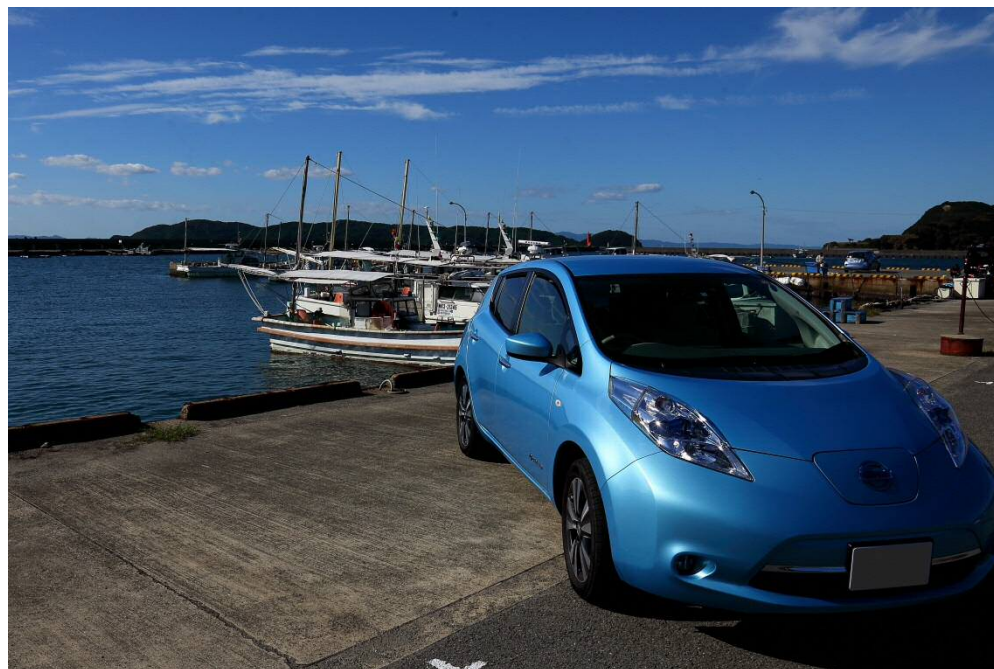
入 選

株式会社ヤマプラ
「旧市街地を行く」

滋賀県 近江八幡市

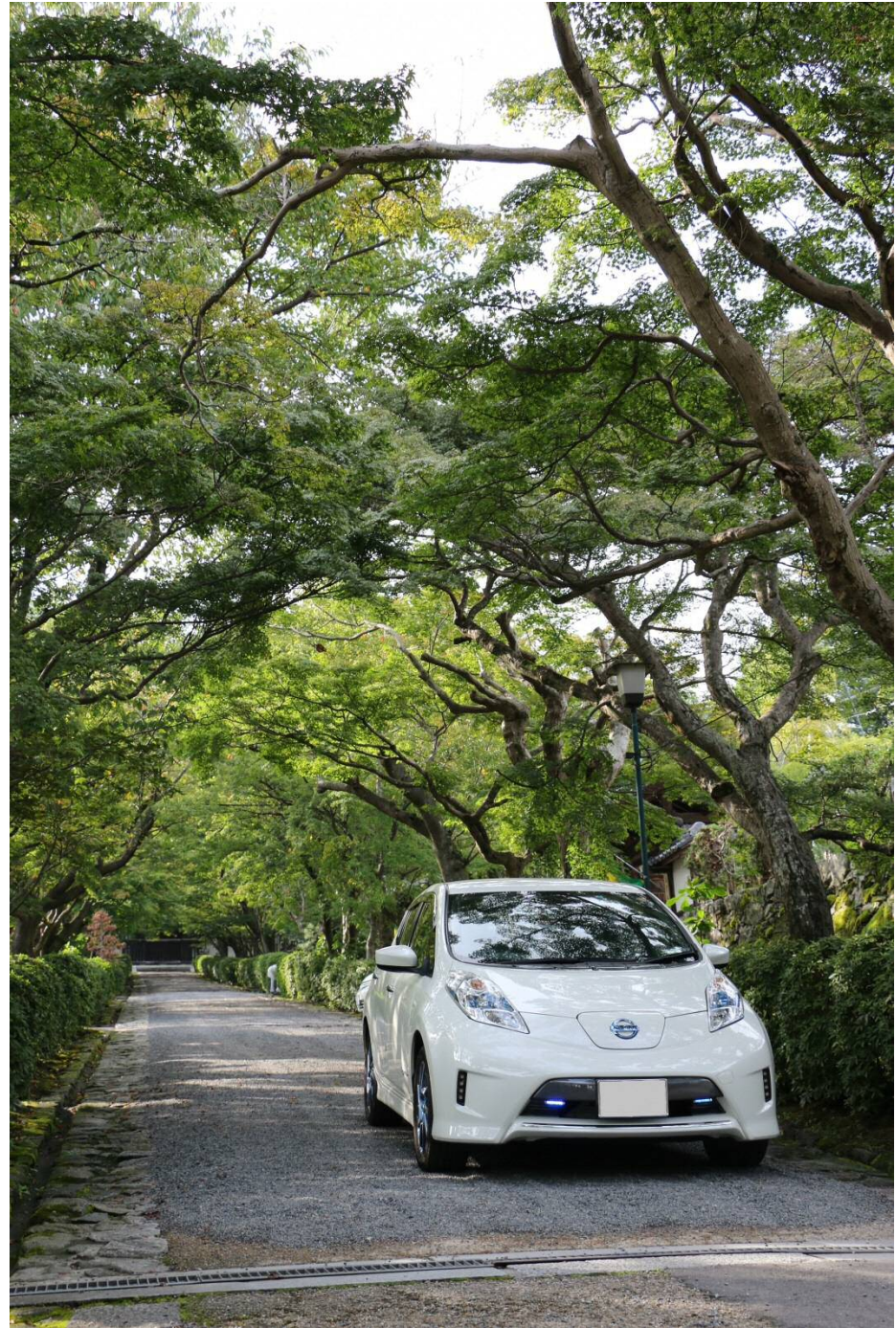
入 選

佐藤 輝明「潮風に吹かれて」
和歌山県 和歌山市（加太港）



日産EV賞

小西 あゆみ「木漏れ日の径」
滋賀県 大津市



三菱EV・PHEV賞

高橋 文彦「夏の光跡」
兵庫県 神戸市



入賞・入選作品 講評

委員長 友田 富造 (公益社団法人日本広告写真家協会 副会長)
委員 堺 雄二 (公益社団法人日本広告写真家協会)
他委員4名

総 評

第7回目のコンテストの審査は、総数144作品が集まり6人の審査員で厳正なる審査を行いました。前回同様、EV・PHV・FCVが街並や自然の風景の中にいかに溶け込んでいるかを審査のポイントに置きました。今回は少し参加点数が減りましたが、作品のクオリティーは前回同様格段に上がり、年々このコンテストの注目度がより高くなっている事を実感しました。今回も審査員を最後まで悩ませましたが、最終的に最優秀賞1点、優秀賞2点、協賛企業賞2点、入選10点を決定致しました。選外作品の中にもすばらしい作品が多数観られましたが、次回も今回を上回る多くの応募作品に出会えることを楽しみにしております。

最優秀賞：『重要文化財&PHV』（松本 若奈）

- ◆国の重要文化財である舞鶴赤レンガパークの前に青のプリウスを左端に小さく配置し、曇り空で車の質感が強調され、赤レンガの建物をシンメトリーにして、空間を生かした画面構成がすばらしい作品です。
- ◆赤レンガ倉庫の背景に青いPHVをうまく配置したのは良いです。大自然と関わる写真を撮るときはいつも、季節と時間帯を考慮する必要があります。空の色が変わればまた違った印象になる作品です。

優秀賞：『桜並木～冬ヴァージョン～』（井手 径子）

- ◆朝日が射す桜並木道に積もる雪景色をバックに、赤のリーフがうまく溶け込んでいる。輝きの中に静寂を感じる良い作品です。
- ◆桜の木も冬に雪の花を咲かせるのですね、雪景色のかわいいリーフがたくましく見えます。

優秀賞：『明石海峡を背にして』（奥村 明裕）

- ◆ライトアップされた明石大橋をバックに白のアウトランダーがうまく溶け込んでいる。ストロボを使い車種の色を出そうとする努力が見られる良い作品です。
- ◆ストロボとの光量のバランス難しいようですね。また、テールランプの赤が強すぎますね、この調整も少し考えれば方法があると思います。非常に良い時間帯を選んでいきますので、次はロケーションを変えてチャレンジしてください。

入 選 : 『日本の棚田百選「あらぎ島」を訪れて』 (一ツ田 友也)

◆日本の棚田百選「あらぎ島」をバックに白のリーフがうまく溶け込み、俯瞰のアングルも良いが、バックの棚田全体がグリーンで、夕景で撮影すれば入賞可能な作品です。

◆かわいい丸こいリーフと、マルイ形の棚田の対比、平穏を感じます。

入 選 : 『帰郷』 (白木 文枝)

◆美山町かやぶきの里に黄色のi-MiEVが目立つ。画面構成も良く車がもう少し前で車を大きく撮ればもっと良くなる作品です。

◆皆さんのよく撮る美山町の茅葺き屋根の風景、黄色いリーフが生きましたね。車の後方が切れていますが、シャッターを押す前には必ず確認してください。

入 選 : 『威風堂々』 (細井 彰人)

◆天橋立知恩寺のライトアップされた山門の前に黒のコムスを配置し、ローアングルで撮影する事で迫力感が出るが、空が紺色の時間帯に撮ればもっと良くなる作品です。

◆荘厳な山門とヤドカリのようなコムス、非常にアイキョウの有る作品ですね。車の顔がもう少ししっかり出ていればもっと良いです。

入 選 : 『熊野の世界遺産・大斎原とPHV』 (土井 正治)

◆熊野本宮旧社地「大斎原」大鳥居の前に、赤のプリウスPHVをローアングルで撮影する事で、大鳥居の迫力と安定感を感じる作品です。

◆熊野の神々とプリウスPHVの出会い、、、車の精悍さ、黒くシルエットにした鳥居、シンプルな構成よくできています。

入 選 : 『びわこを眺めて』 (株式会社日吉)

◆琵琶湖宮ヶ浜の砂浜に白のプリウスPHVを配置。バックの沖島と湖面をドローンカメラで俯瞰撮影するのも良いが、もう少し車体を大きく撮影すれば入賞できる作品です。

◆ドローンで撮影したのでしょうか？バードビュー、新鮮なアングルに一票です。画面構成は一考ですが、、、

入 選 : 『高野山壇上伽藍 根本大塔』 (西川 さち)

◆高野山根本大塔を背景に、ライティングも良くEVレンタカーで周遊している家族の楽しさが伝わる微笑ましい作品です。

◆高野山壇上伽藍 根本大塔の上のほうまで入れて、もう少し右から撮影すればよかったのではと思います。サイズはL版ではなしにA4に伸ばしておればよりよかったです。

入 選 : 『夏の終わり、空の色』 (高橋 裕佳子)

◆赤く焼けた夕焼け空をバックに、プリウスPHVの配置やシルバーの質感も良く三分割の構図も完璧で、迫力がある作品です。

◆桐生の高台での撮影でしょうか？夕景で逆光の撮影、プリウスのフロントにライトを使って、顔を出したのは良かったです。次回は大きいサイズでチャレンジしてください。

入 選 : 『ロケ地めぐり 豊郷小学校旧校舎群』 (小西 英明)

◆映画のロケ地に使われた豊郷小学校旧校舎群をバックに、白のリーフと青い空が安定感のある画面構成で、自然の広大さと空気感を感じる作品です。

◆青い空に白いリーフと白い建物、非常に落ち着いた作品です。

入 選 : 『旧市街地に行く』 (株式会社ヤマブラ)

◆近江八幡の旧市街を走る白のMIRAIが、古い町並に違和感なく溶け込み、ライティングや構図も良くのんびりする空気を感じる作品です。

◆近江八幡の旧市街地通りにミライ、良いですね。後方は八幡山でしょうか？安定した画面構成はよいです。

入 選 : 『潮風に吹かれて』 (佐藤 輝明)

◆加太漁港の青い空と漁船をバックに、青のリーフを前に置く事で迫力が増し、サイドライトがコントラストのある演出をし、爽やかな潮風を感じる作品です。

◆漁港の潮風を感じながら、魚船と車のコントラスト、、、折角のよいロケーションですが、車の位置が漁港の雰囲気を感じ取れにくくしています。港の雰囲気を出すのであれば、車の配置を考え直す必要があります。

日産EV賞 : 『木漏れ日の径』 (小西 あゆみ)

◆緑のトンネルを抜けた小道の手前に白のリーフを配置し、縦位置の構図で撮影する事で空間を感じさせる良い作品です。

◆古木の並木道に地道の上の白いリーフ、緑と白の車が美しく清楚な雰囲気を醸しています。

三菱EV・PHEV賞: 『夏の光跡』 (高橋 文彦)

◆黒のアウトランダーの横をホテルが飛ぶ軌跡を長時間露出で撮影する事で黄色のラインが印象的でワンポイントになった良い作品です。

◆夕暮れ時に、出会った蛍と車を難しい条件でシンプルに仕上げています。私の近所では蛍が増えてきています。水と空気のせいでしょうか？環境にやさしい車がもっと普及してほしいですね。